



命とは

令和3年5月28日(金)
心を育む生徒指導通信No.2【通算34号】
作成者・教諭 花園修兵

今年の桜は開花が早く、晴天が続いたこともあり、例年になく満開となった姿を長く見ることができたように思います。皆さん、桜が例年になく美しく咲き誇る年はどんな年かわかりますか・・・？

実はその年の雪の多さが関係しているそうです。確かに昨年から今年にかけての冬は雪がこれでもかというくらいに降りましたね。私も屋根雪を降ろしたのは初めての経験でした(汗)

あの雪があったからこそ、桜は美しくも儂いあの淡い桜色としか表現のできない花びらを咲き誇らせることができるのです。そう、ここぞとばかりに**命を燃やす**んですね。

さて、今回の生徒指導通信のテーマは“命とは”です。

皆さんは、**何にその命を燃やしますか。あなたの使命とは**なんでしょうか。

そんなことを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

個人的には桜の満開の姿も好きですが、あの散っていく潔さの方が私はどこか好きですね・・・変かな(笑)



十歳のきみへ いのちの授業 日野原重明 Youtube より

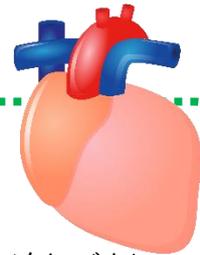
皆さん、目を閉じて自分の胸に手を当ててみてください。

ドクン・ドクン・・・と繰り返し静かな音が聞こえてきます。みなさんの**胸の鼓動**がわかります。

では、これが私たち人間ではなく、動物だったらどうでしょうか。動物も皆鼓動が聞こえます。

体の小さいウサギなどは1分間に200回程度の鼓動。

体の大きなゾウは・・・？ 1分間に25回程度だそうです。



では、皆さんにお聞きします。**命**って・・・何ですか？

だいたいの答えが皆さん“**心臓**”と答えるそうです。皆さんの答えはどうでしたか？

しかし、それは正解ではないようです。日野原先生は言います。

「心臓とはモーターであり、ポンプであって命ではない」と。皆さんも心臓の役割はご存知ですね。

続けて日野原先生は「**見えないものにこそ大切なものがある**」と言っておられます。

皆さんの体に絶対に必要な酸素は目に見えますか・・・？ 見えませんね。

次に時間はどうでしょうか・・・？ 時間というものも見えませんが。

つまり、大切な命も目には見えないということです。そして、この時間こそが私たちの“命”です。

皆さんが1日に使える時間は何時間ですか・・・？ まさか自分だけ1日32時間ありますなんて人はいませんよね(笑) 皆が使える1日の時間は24時間です。その24時間の中で勉強したり、運動したり、友達と遊んだりしています。

命を使うと書いて「**使命**」と言います。**あなたは何にその命を使いますか？ あなたはその命という時間の中でどのように生きていきますか？** 自分の生き方、在り方を振り返り、命と言う時間を大切にしていきたいものですね。

最後に皆さんも知っている「**しゃぼん玉**」の歌についてです。この歌は野口雨情という方の娘さんが生まれてすぐに亡くなったことを歌っているとされています。

しゃぼん玉飛んだ 屋根まで飛んだ 屋根まで飛んで こわれて消えた
しゃぼん玉消えた 飛ばずに消えた 生まれてすぐに こわれて消えた
風 風 吹くな しゃぼん玉 飛ばそ 風 風 吹くな しゃぼん玉 飛ばそ



人のいのちが何より大切なものであることは誰もがわかっているのに、最近はいじめや自殺が子どもたちの中にも広がっていき、それと同時に人のいのちを奪い合う戦争やテロが世界各地に見られます。

人間は子どもの時から自分も他人も、与えられたいのちを何よりも大切にしてきました。

他人(ひと)のためにこそ自分の命(使命・時間)を燃やすことのできる穴高生であってほしいと願います。